

7. グラフで見る1973~2007年の精巣腫瘍

広島県腫瘍登録における精巣腫瘍の解析

1973年から2007年の間に登録された精巣腫瘍について解析検討を行った。登録された精巣腫瘍は910例で、良性腫瘍51例、悪性腫瘍852例、性状不詳7例であり、大部分が悪性であった。対象とする腫瘍の発生は男性であるが、XY表現型女性が2例認められた。

1. 精巣腫瘍の登録数の年次推移〔図1、表1〕

1973年から1995年にかけて、登録精度の向上と共に漸増傾向にあるが、1995年以降、登録数は各年次で増減がみられるが、平均35例程度の登録数でありほぼ一定に推移している。

2. 精巣腫瘍の詳細部位別登録数

良性腫瘍51例のうち、停留睾丸は3例（5.9%）、下降精巣は1例（2.0%）、精巣NOSが47例（92.1%）であった。性状不詳では停留睾丸が1例、精巣NOSが1例であった。悪性腫瘍852例のうち、停留睾丸25例（2.9%）、下降精巣10例（1.2%）、精巣NOSが818例（96.0%）であった。

3. 精巣腫瘍の左右別年次推移（悪性のみ）〔図2、表2〕

1988年以降の精巣の腫瘍発生の左右が明示された期間において、発生部位の左右に一定の傾向は認められなかった。

4. 精巣腫瘍の組織型別割合（性状別）〔図3(1), (2), (3)、表3〕

良性腫瘍では成熟奇形腫（70%）、平滑筋腫（11.8%）、アデノマトイド（腺腫様）腫瘍（7.8%）、ライディヒ細胞腫（5.9%）が主な組織型であり、悪性腫瘍ではセミノーマ（57.9%）、混合型胚細胞腫瘍（10.3%）、未熟奇形腫（9.6%）、悪性リンパ腫（8.6%）、胎児性癌（8.0%）、卵黄嚢腫瘍（3.8%）が主な組織型であった。XY表現型女性が2例はセルトリ細胞腫であった。

5. 精巣腫瘍の登録数の年次推移（性別別、組織別）〔図4、表3〕

登録の精度の向上と共にセミノーマの登録数の増加が著しいが、他の組織型の登録数には変化がみられない。1995年以降はセミノーマの登録数の変化はないが、混合型胚細胞腫瘍および悪性リンパ腫の登録数の増加が認められる。

6. 精巣腫瘍の年齢階級別登録数（性状別、組織型別）〔図5(1), (2)、表4〕

小児期（0～5歳）では、良性腫瘍は成熟奇形腫の発生のみがみられ、他の良性腫瘍の発生はなかった。悪性腫瘍では卵黄嚢腫瘍、胎児性癌の発生頻度が高く、それぞれ悪性腫

瘍の42%、40%を占めた。青年・壮年期（15～45歳）では悪性腫瘍の約2/3はセミノーマで最も多くみられ、胎児性癌、その他（混合性胚細胞腫瘍）はその約1/4程度の発生頻度を示す。高齢者（50歳代以上）では悪性リンパ腫の頻度が高い。悪性腫瘍のうちリンパ腫の割合は50歳未満では1.3%であるが、50歳以上では39.8%を占める。リンパ腫の組織型別頻度として亜分類の詳細な登録は少なく、非ホジキン悪性リンパ腫（48%）、悪性リンパ腫NOS（26%）、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫（22%）の順が多い。

7. 精巣腫瘍の組織型別左右発生〔表5〕

側性の情報がない例を除き、左右差の明示のある例において組織型と精巣の左右発生には一定の傾向は認められない。

8. 精巣腫瘍における両側発生がん〔表6(1), (2), (3)〕

両側に発生した精巣腫瘍が8例認められた、そのうち同時性発生が2例、異時性発生が6例であった。両側にセミノーマが発生する例が最も多く（3例）、未熟奇形腫を含む胚細胞腫瘍が次に多い傾向があった。

9. 精巣腫瘍における多重がん〔表7(1), (2)〕

精巣腫瘍が第一がんである場合、精巣を含めた、前立腺、腎盂、膀胱癌が診断される例が多い傾向がある。精巣腫瘍発生後、骨盤部あるいは骨盤内臓器に対して重点的に経過が観察されることが関連している可能性がある。第二がんである場合は、精巣腫瘍の全体的な発生が青年期にピークがあることから、頻度は低く、消化管や呼吸器に一次がんが発生している頻度が高い。リンパ腫は高齢者に発生する頻度が高いことから、一次がんが前立腺である頻度が高い。

10. 精巣腫瘍における転移症例〔表8〕

原発が精巣腫瘍で転移部位が登録されていた症例は135例あった。その約半数の68例（50.7%）はリンパ節転移巣により登録されている。次に後腹膜および腹膜16例（11.8%）、気管支および肺15例（11.0%）の順で頻度が高い。

11. 精巣腫瘍の登録率の年次推移

(1) 性状別年齢調整登録率の年次推移〔図6、表9〕

年次推移からみた年齢調整登録率は増加傾向にある。悪性精巣腫瘍の登録率は1973年から1977年では、0.86であったが、1988年から1992年では2.01と大幅に増加し、2003年から2007年では2.53と増加傾向にある。診断の精度向上と共に登録施設の増加、登録精度の向上による影響が考えられる。

(2) 全国推定罹患率との比較〔表10〕

広島県腫瘍登録からみた精巣腫瘍の年齢調整罹患率は2.1と全国推計値に比較して高い。臨床側からの症例登録が充実し、登録の精度の高い他の県においても、広島と同様に罹患率は全国推計値と比較して高い傾向がある。

12. 二次保健医療圏別登録率〔図7, 8, 表11, 12〕

登録数は広島437例が全体の55.3%を占め最も多い。次に呉83例(10.5%)、尾三73例(9.3%)である。登録率は広島西2.4、備北2.3、広島1.9である。福山・府中では登録数、登録率ともに低値であるが、登録施設数が少ないことが影響していると考えられる。組織型別割合では、広島西では混合型胚細胞腫瘍が多い傾向があるが、各二次保健医療圏での割合は同様の傾向がみられる。

13. 精巣腫瘍の診断時住所と診断医療機関所在地の関係〔図9(1), (2), (3)、表12(1), (2), (3)〕

診断時住所と診断医療機関所在地の関係から、広島西および広島中央では、0～14歳の悪性精巣腫瘍は、その他の地域の医療機関で診断されている。小児期の精巣腫瘍は都市部の医療施設で診断(治療)される傾向がある。15歳以上では診断医療機関の所在地の自地域・その他の地域の割合には一定の傾向があり、年代別の変化は少ない。

1. 精巣腫瘍の登録数の年次推移

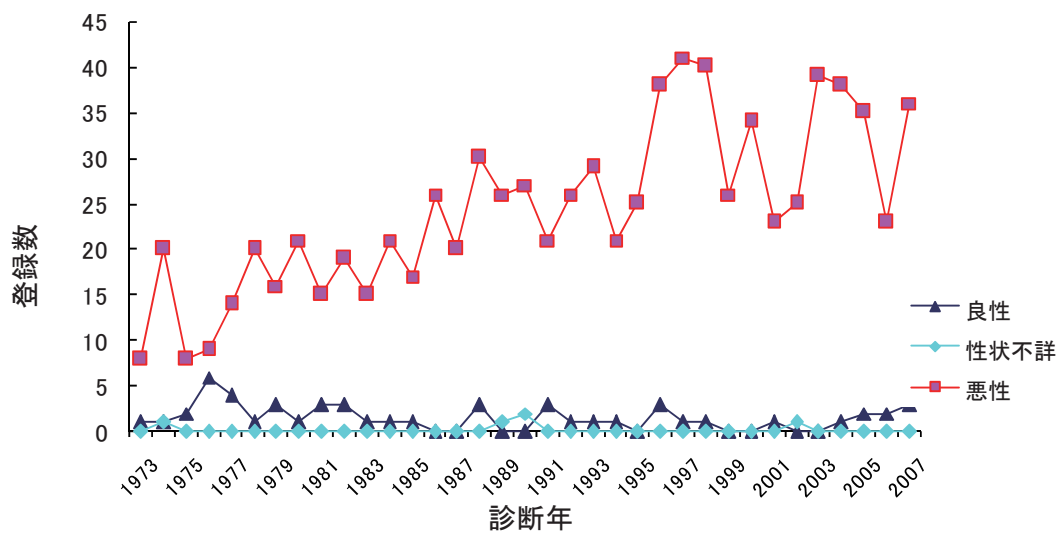


図1 精巣腫瘍登録数の年次推移（男性）

表1 精巣腫瘍登録数の年次推移（性状、年次別）

性 別	診断年	性 状			合 計
		良 性	性状不詳	悪 性	
男 性	1973	1	.	8	9
	1974	1	1	20	22
	1975	2	.	8	10
	1976	6	.	9	15
	1977	4	.	14	18
	1978	1	.	20	21
	1979	3	.	16	19
	1980	1	.	21	22
	1981	3	.	15	18
	1982	3	.	19	22
	1983	1	.	15	16
	1984	1	.	21	22
	1985	1	.	17	18
	1986	.	.	26	26
	1987	.	.	20	20
	1988	3	.	30	33
	1989	.	1	26	27
	1990	.	2	27	29
	1991	3	.	21	24
	1992	1	.	26	27
	1993	1	.	29	30
	1994	1	.	21	22
	1995	.	.	25	25
	1996	3	.	38	41
	1997	1	.	41	42
	1998	1	.	40	41
	1999	.	.	26	26
	2000	.	.	34	34
	2001	1	.	23	24
	2002	.	1	25	26
2003	.	.	39	39	
2004	1	.	38	39	
2005	2	.	35	37	
2006	2	.	23	25	
2007	3	.	36	39	
(XY表現型女性)	1997	.	1	.	1
	1999	.	1	.	1
合 計		51	7	852	910

2. 精巣腫瘍の詳細部位別登録数

良性腫瘍51例のうち、停留睪丸は3例（5.9%）、下降精巣は1例（2.0%）、精巣 NOS が47例（92.1%）であった。性状不詳では停留睪丸が1例、精巣 NOS が1例であった。悪性腫瘍852例のうち、停留睪丸25例（2.9%）、下降精巣10例（1.2%）、精巣 NOS が818例（96.0%）であった。

3. 精巣腫瘍の左右別年次推移（悪性のみ）

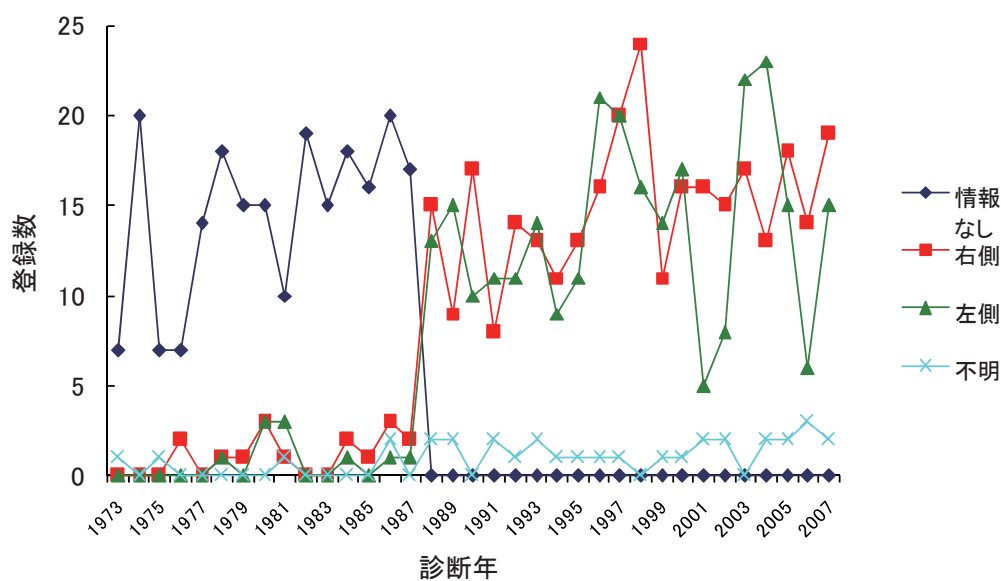


図2 精巣腫瘍左右別登録数の年次推移（悪性）

表2 精巣腫瘍の左右別年次推移（悪性のみ）

性別	診断年	左右の別			合計	
		情報なし	右側	左側		不明
男性	1973	7	.	.	1	8
	1974	20	.	.	.	20
	1975	7	.	.	1	8
	1976	7	2	.	.	9
	1977	14	.	.	.	14
	1978	18	1	1	.	20
	1979	15	1	.	.	16
	1980	15	3	3	.	21
	1981	10	1	3	1	15
	1982	19	.	.	.	19
	1983	15	.	.	.	15
	1984	18	2	1	.	21
	1985	16	1	.	.	17
	1986	20	3	1	2	26
	1987	17	2	1	.	20
	1988	.	15	13	2	30
	1989	.	9	15	2	26
	1990	.	17	10	.	27
	1991	.	8	11	2	21
	1992	.	14	11	1	26
	1993	.	13	14	2	29
	1994	.	11	9	1	21
	1995	.	13	11	1	25
	1996	.	16	21	1	38
	1997	.	20	20	1	41
	1998	.	24	16	.	40
	1999	.	11	14	1	26
	2000	.	16	17	1	34
	2001	.	16	5	2	23
	2002	.	15	8	2	25
	2003	.	17	22	.	39
	2004	.	13	23	2	38
	2005	.	18	15	2	35
	2006	.	14	6	3	23
	2007	.	19	15	2	36
合計		218	315	286	33	852

4. 精巣腫瘍の組織型別割合（性状別）

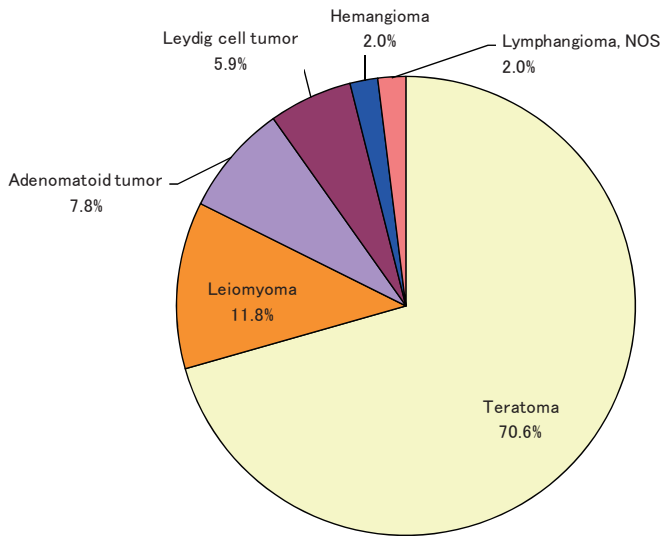


図 3(1) 精巣腫瘍の組織型別登録割合（良性、51例）

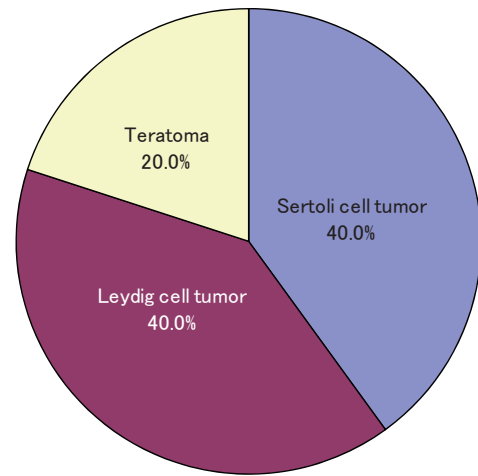


図 3(2) 精巣腫瘍の組織型別登録割合（性状不詳、男性 5 例）

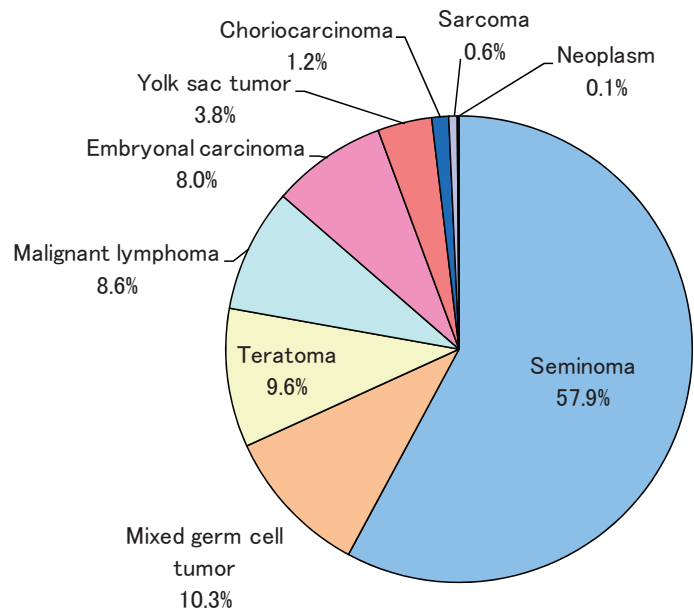


図 3(3) 精巣腫瘍の組織型別登録割合（悪性、852例）

5. 精巣腫瘍の登録数の年次推移（性状別、組織型別）

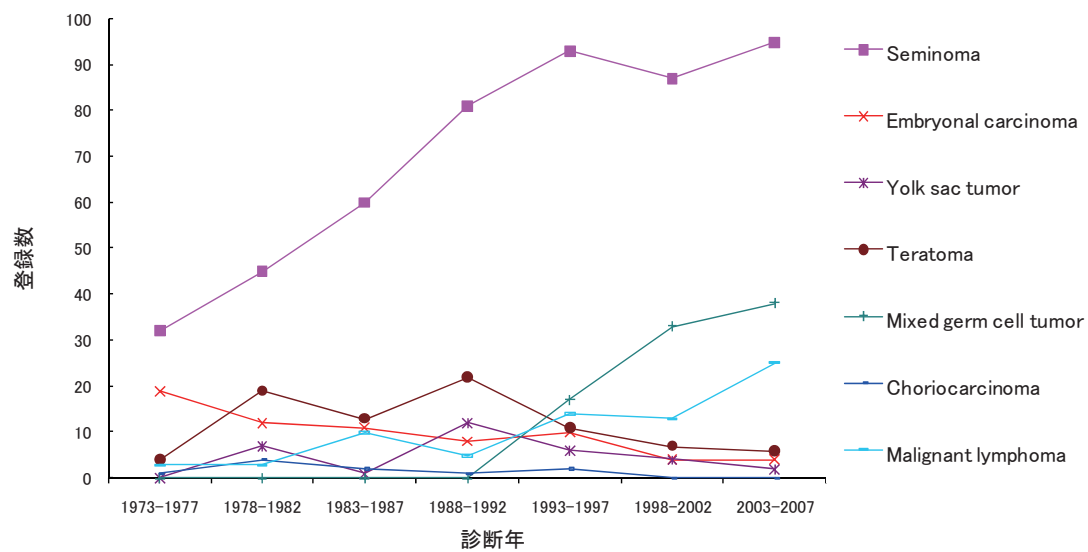


図4 精巣腫瘍の登録数の年次推移（組織型別、性状別）（悪性）

表3 精巣腫瘍の年次別登録数（性状別、組織型別）

性別	性状	組織型	診断年										合計	%
			1973-1977	1978-1982	1983-1987	1988-1992	1993-1997	1998-2002	2003-2007					
男性	良性	Leydig cell tumor	2	1	3	6%
		Leiomyoma	.	1	.	.	3	.	.	.	2	6	12%	
		Adenomatoid tumor	.	2	.	.	1	1	.	.	.	4	8%	
		Teratoma	12	7	3	6	2	1	5	36	71%			
		Hemangioma	.	1	1	2%	
		Lymphangioma, NOS	.	.	.	1	1	2%	
		小計	14	11	3	7	6	2	8	51	100%			
		Sertoli cell tumor	.	.	.	2	2	40%		
		Leydig cell tumor	.	.	.	1	.	1	.	.	2	40%		
		Teratoma	1	1	20%		
小計	1	0	0	3	0	1	0	5	100%					
悪性	性状不詳	Neoplasm	.	.	1	1	0%	
		Sarcoma	.	1	1	1	1	.	1	5	1%			
		Seminoma (Spermatocytic seminoma)	32	45	60	81	93	87	95	493	58%			
		Embryonal carcinoma	19	12	11	8	10	4	4	68	8%			
		Yolk sac tumor	.	7	1	12	6	4	2	32	4%			
		Teratoma	4	19	13	22	11	7	6	82	10%			
		Mixed germ cell tumor	17	33	38	88	10%			
		Choriocarcinoma	1	4	2	1	2	.	.	10	1%			
		Malignant lymphoma	3	3	10	5	14	13	25	73	9%			
		小計	59	91	99	130	154	148	171	852	100%			
小計	74	102	102	140	160	151	179	908						
(XY表現型女性)	性状不詳	Sertoli cell tumor	1	1	.	.	2	100%	
		小計	0	0	0	0	1	1	0	2	100%			
		小計	0	0	0	0	1	1	0	2				
合計	74	102	102	140	161	152	179	910						

6. 精巣腫瘍の年齢階級別登録数（性状別、組織型別）

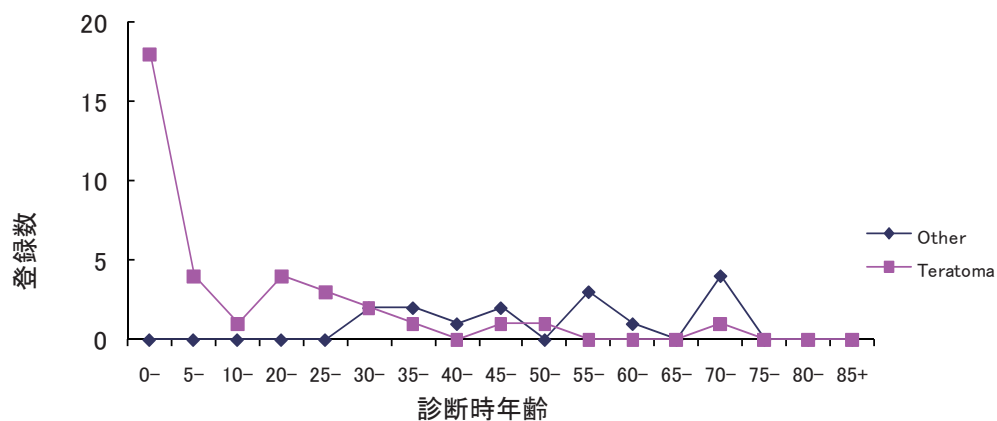


図 5(1) 精巣腫瘍の年齢階級別登録数（良性、組織型別）

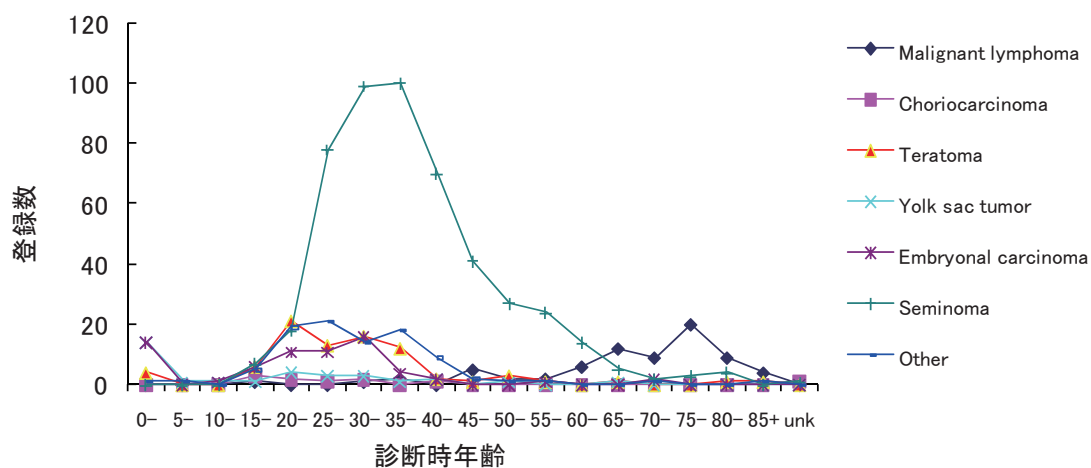


図 5(2) 精巣腫瘍の年齢階級別登録数（悪性、組織型別）

表 4 精巣腫瘍の年齢階級別登録数 (組織型別)

性別	性状	組織型	年齢												合計	%		
			0-9	10-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-89	90+	不明					
男性	良性	Leydig cell tumor	.	.	.	1	2	3	6%
		Leiomyoma	3	.	3	6	12%
		Adenomatoid tumor	.	.	.	3	.	.	1	4	8%
		Teratoma	22	1	7	3	1	1	1	.	1	36	71%
		Hemangioma	1	1	2%
		Lymphangioma, NOS	1	1	2%
小計			22	1	7	7	4	4	1	5	0	0	0	0	51	100%		
性状不詳			.	.	2	2	40%		
Leydig cell tumor			.	.	.	1	.	1	2	40%		
Teratoma			1	1	20%		
小計			1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	5	100%		
悪性		Neoplasm	.	.	.	1	1	0%	
		Sarcoma	1	1	.	1	.	.	.	1	.	1	.	1	.	5	1%	
		Seminoma	.	7	96	199	111	51	19	5	4	.	4	.	1	493	58%	
		(Spermatocytic seminoma)	(1)	(2)	.	.	.	(1)	.	.	.	(4)	0%	
		Embryonal	14	7	22	20	2	1	.	2	.	2	.	.	.	68	8%	
		Yolk sac tumor	15	2	7	4	2	1	1	32	4%	
		Teratoma	4	6	34	28	3	4	1	.	1	1	.	.	.	82	10%	
		Mixed germ cell	1	4	40	30	11	2	88	10%	
		Choriocarcinoma	.	3	3	2	1	1	10	1%	
		Malignant lymphoma	.	1	.	3	5	4	18	29	12	1	.	.	.	73	9%	
		小計			35	31	202	288	135	63	39	37	17	3	2	852	100%	
		小計			58	32	211	296	139	68	40	42	17	3	2	908		
(XY 表現型女性)	性状不詳	Sertoli cell tumor	.	.	2	2	100%		
		小計	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	100%		
小計			0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2			
合計			58	32	213	296	139	68	40	42	17	3	2	910				

7. 精巣腫瘍の組織型別左右発生

表5 精巣腫瘍の組織型別左右発生数、割合（診断年 1990－2007年）

組織型	右側		左側		不明		合計	
	右側	(%)	左側	(%)	不明	(%)	合計	(%)
Sarcoma	1	(50.0)	1	(50.0)	.	.	2	(100.0)
Seminoma	159	(49.2)	154	(47.7)	10	(3.1)	323	(100.0)
Spermatocytic seminoma	3	(75.0)	1	(25.0)	.	.	4	(100.0)
Embryonal carcinoma	10	(50.0)	9	(45.0)	1	(5.0)	20	(100.0)
Yolk sac tumor	12	(57.1)	9	(42.9)	.	.	21	(100.0)
Teratoma	17	(48.6)	10	(28.6)	8	(22.9)	35	(100.0)
Mixed germ cell tumor	45	(51.1)	39	(44.3)	4	(4.5)	88	(100.0)
Choriocarcinoma	2	(100.0)	2	(100.0)
Malignant lymphoma	26	(50.0)	25	(48.1)	1	(1.9)	52	(100.0)
合計	275	(50.3)	248	(45.3)	24	(4.4)	547	(100.0)

(注1) 1989年以前は左右の登録が行われていなかったため、1990－2007年診断症例を対象とした。

(注2) 不明は、転移部位により登録された症例で、原発腫瘍の左右情報を収集していないことによる。

8. 精巣腫瘍における両側発生がん

表 6(1) 左右両側に発生した症例の組織型発生数（同時性、異時性含む）

		左 側				合計	
		Sertoli cell tumor	Sarcoma	Seminoma	Mixed germ cell tumor	Malignant lymphoma	
右 側	Sertoli cell tumor	1	1
	Sarcoma	.	1	.	.	.	1
	Seminoma	.	.	3	.	.	3
	Teratoma	.	.	1	1	.	2
	Malignant	1	1
合 計	1	1	4	1	1	8	

表 6(2) 左右両側に発生した症例の組織型発生数（同時性＝発症の間が1年未満）

		左 側		合計
		Sertoli cell tumor	Sarcoma	
右 側	Sertoli cell tumor	1	.	1
	Sarcoma	.	1	1
合 計		1	1	2

表 6(3) 左右両側に発生した症例の組織型発生数（異時性＝発症の間が1年以上）

		左 側			合計
		Seminoma	Mixed germ cell tumor	Malignant lymphoma	
右 側	Seminoma	3	.	.	3
	Teratoma	1	1	.	2
	Malignant	.	.	1	1
合 計		4	1	1	6

9. 精巣腫瘍における多重がん

表7 精巣腫瘍症例の多重がん登録数、第一がんと第二がんの組み合わせ (ICD10) と、第二がん診断までの期間

(1) 第一がんが精巣腫瘍

第一がん (精巣)	第二がん	第一がん(精巣)と第二がん診断までの期間						合計
		1年未満	1-4年	5-9年	10-14年	15-19年	20年以上	
精 巣	胃	1	1	2	2	2	1	9
	小腸	1	1	2
	結腸	1	1
	直腸	.	.	1	.	.	1	2
	肝及び肝内胆管	.	1	1
	膵	1	1
	気管支及び肺	.	.	.	1	.	.	1
	前立腺	.	1	.	1	1	1	4
	精巣	1	3	1	.	.	.	5
	腎盂を除く腎	1	.	1	.	.	.	2
	膀胱	.	.	.	1	1	.	2
	部位不明	1	.	1
	精巣以外の悪性リンパ腫	2	.	.	1	.	.	3
	白血病	.	1	1
	精巣の悪性 リンパ腫	胃	1	.	1	.	.	.
喉頭		.	1	1
精巣以外の悪性リンパ腫		1	1	2
合 計		8	9	6	6	5	6	40

(2) 第二がんが精巣腫瘍

第一がん	第二がん(精巣)	第一がんと第二がん(精巣)診断までの期間					合計	
		1年未満	1-4年	5-9年	10-14年	15-19年		
胃	精 巣	1	1	
結腸		.	1	.	.	.	1	
直腸		.	1	1	.	.	2	
副鼻腔		1	1	
気管支及び肺		1	1	.	.	.	2	
皮膚		.	.	1	.	.	1	
前立腺		1	1	
胃		.	.	.	1	.	1	
気管支及び肺		.	.	1	.	.	1	
前立腺		精巣の悪性リンパ腫	2	1	.	.	.	3
膀胱		.	1	.	.	.	1	
精巣以外の悪性リンパ腫		2	2	
合 計		7	5	3	1	1	17	

10. 精巣腫瘍における転移症例

表 8 原発が精巣腫瘍の転移部位の頻度 (%)

転移部位	登録数	%
リンパ節	68	(50.7)
後腹膜及び腹膜	16	(11.8)
気管支および肺	15	(11.0)
結合組織、皮下組織及びその他の軟部組織	8	(5.9)
造血系及び細網内皮系	8	(5.9)
脳	5	(3.7)
胸腺、心及び縦隔	4	(2.9)
その他及び部位不明の男性性器	3	(2.2)
皮膚	3	(2.2)
精巣	2	(1.5)
咽頭	1	(0.7)
肝及び肝内胆管	1	(0.7)
腎	1	(0.7)
合 計	135	(100.0)

転移巣が登録されていた原発精巣腫瘍は94例であり、うち転移巣の登録が2つのものが20例、3つのものが3例、4つのものが3例、7つのものが1例であった。

11. 精巣腫瘍の登録率の年次推移

(1) 性状別年齢調整登録率の年次推移

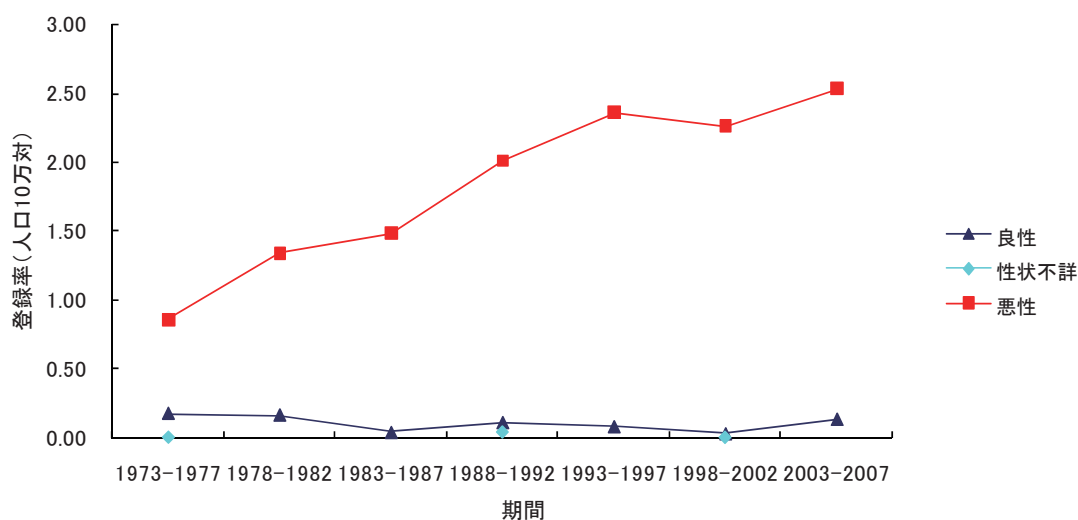


図6 精巣腫瘍の登録率の年次推移（性状別）

表9 精巣腫瘍の登録率の年次推移（性状別）

診断期間	良 性		性状不詳		悪 性	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
1973-1977	14	0.18	1	0.01	59	0.86
1978-1982	11	0.17			90	1.34
1983-1987	3	0.04			98	1.48
1988-1992	7	0.11	3	0.05	130	2.01
1993-1997	6	0.08			154	2.36
1998-2002	2	0.04	1	0.01	148	2.26
2003-2007	8	0.14			171	2.53
合 計	51		5		850	

(注1) 男性のみ、年齢不明は含まれない

(注2) 昭和60年モデル人口で調整

(2) 全国推定罹患率との比較

表10 精巣腫瘍の年齢調整罹患率の比較

期 間	年齢調整罹患率	
	広島県腫瘍登録	全国推計値
1993-2001	2.1	1.3

(注) 世界人口で調整

参考文献

Marugame, *et al.* The Japan Cancer Surveillance Report: Incidence of Childhood, Bone, Penis and Testis Cancers. *Jpn J Clin Oncol* 2007; 37(4) 319-323

12. 二次保健医療圏別登録率

(1) 二次保健医療圏別登録数と登録率

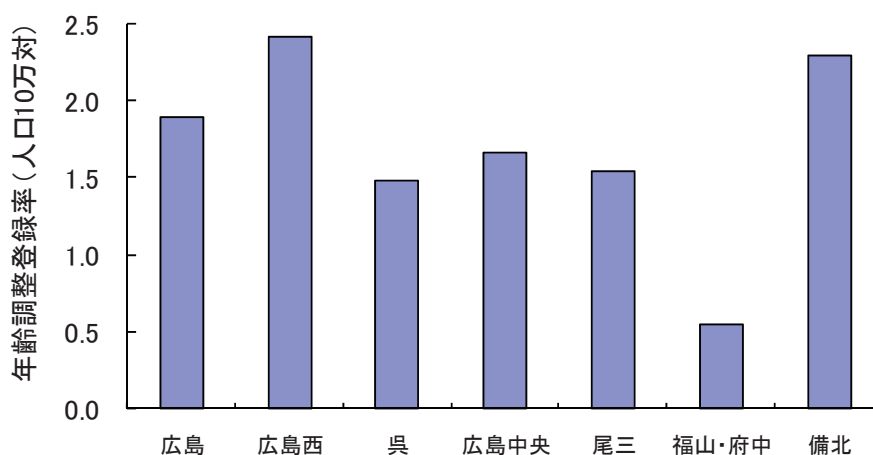


図7 二次保健医療圏別年齢調整登録率 (悪性)

表11 精巣腫瘍の二次保健医療圏別年齢調整登録率

二次保健医療圏	良性		性状不詳		悪性	
	登録数	登録率	登録数	登録率	登録数	登録率
広島	24	0.11	2	0.01	411	1.9
広島西	3	0.12	1	0.04	50	2.4
呉	6	0.12			77	1.5
広島中央	1	0.03			52	1.7
尾三	3	0.05			70	1.5
福山・府中	4	0.05			45	0.5
備北	3	0.21			35	2.3
合計	44		3		740	

(注) 診断時の医療圏不明、性別 その他 (XY 表現型女性)、年齢不明は含まれない

(2) 二次保健医療圏別組織型別割合

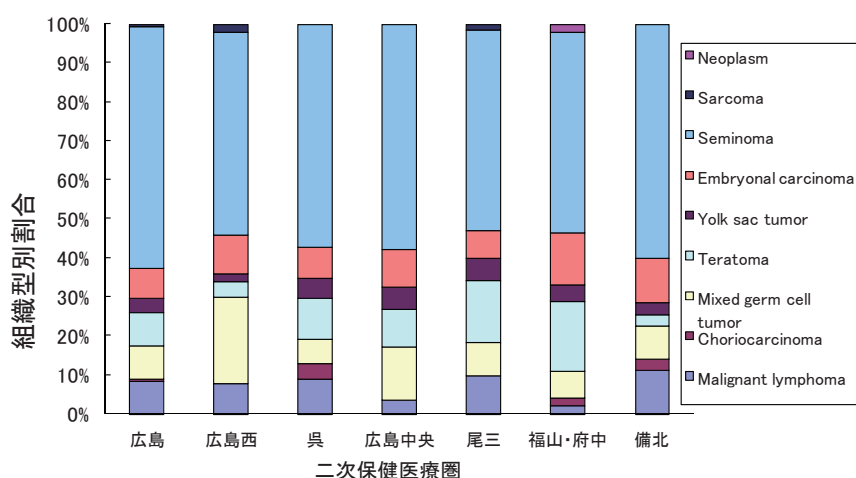


図8 精巣腫瘍の二次保健医療圏別の組織型別割合 (悪性)

表12 精巣腫瘍の二次保健医療圏別組織型別登録数（悪性）

組織型	二次保健医療圏							合 計	
	広島 登録数 (%)	広島西 登録数 (%)	呉 登録数 (%)	広島中央 登録数 (%)	尾三 登録数 (%)	福山・府中 登録数 (%)	備北 登録数 (%)	登録数	(%)
Neoplasm	-	-	-	-	-	1	-	1	(0.1)
Sarcoma	3	1	-	-	1	-	-	5	(0.7)
Seminoma	254	26	44	30	36	23	21	434	(58.6)
Spermatocytic seminoma	2	-	-	-	2	-	-	4	
Embryonal carcinoma	31	5	6	5	5	6	4	62	(8.4)
Yolk sac tumor	15	1	4	3	4	2	1	30	(4.1)
Teratoma	36	2	8	5	11	8	1	71	(9.6)
Mixed germ cell tumor	34	11	5	7	6	3	3	69	(9.3)
Choriocarcinoma	3	-	3	-	-	1	1	8	(1.1)
Malignant lymphoma	35	4	7	2	7	1	4	60	(8.1)
	411	50	77	52	70	45	35	740	(100.0)

医療圏不明、性別 その他 (XY 表現型女性)、年齢不明は解析には含まれない

13. 精巣腫瘍の診断時住所と診断医療機関所在地の関係

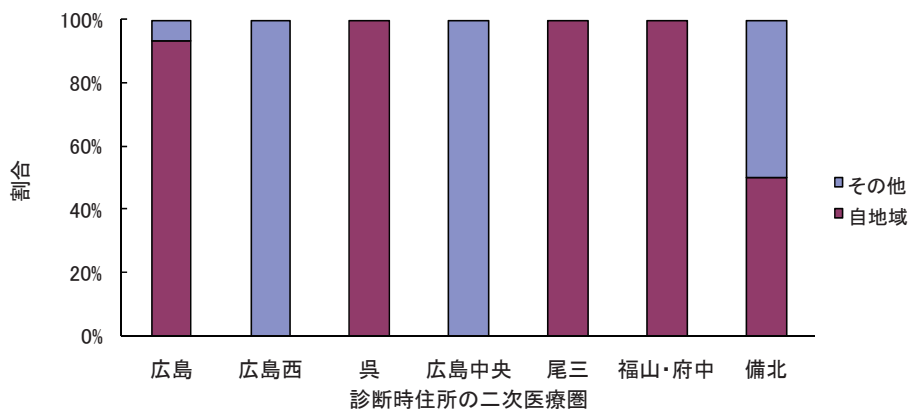


図 9(1) 精巣腫瘍の診断時住所と診断医療機関所在地の関係 (悪性)
— 0-14歳 —

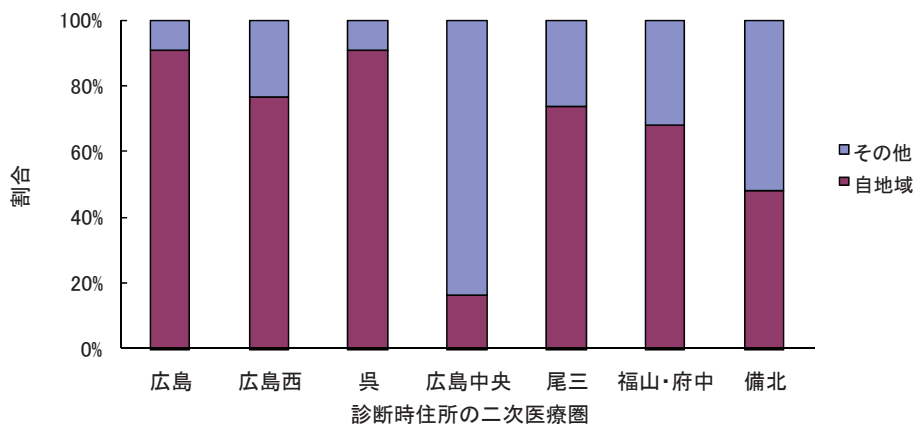


図 9(2) 精巣腫瘍の診断時住所と診断医療機関所在地の関係 (悪性)
— 15-59歳 —

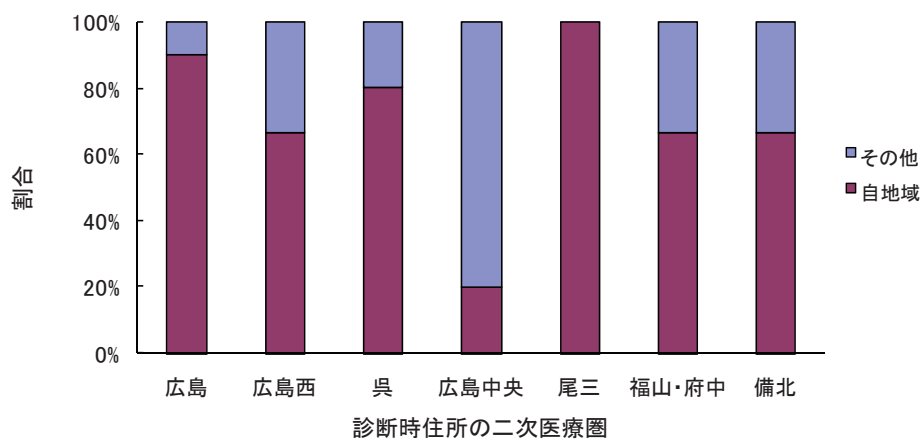


図 9(3) 精巣腫瘍の診断時住所と診断医療機関所在地の関係 (悪性)
— 60歳以上 —

表13 精巣腫瘍における診断時住所と登録施設の所在地の関係（良性・悪性）

(1) 0-14歳

		診断時住所の二次医療圏									合計
性状	登録施設の二次医療圏	広島	広島西	呉	広島中央	尾三	福山・府中	備北	県外	住所不明	
良性	広島	10	.	.	1	.	1	1	.	4	17
	広島西	.	1	1
	呉	1	.	2	1	4
	福山・府中	1	.	.	.	1
悪性	広島	14	1	.	2	.	.	1	3	2	23
	呉	1	.	3	3	7
	尾三	5	5
	福山・府中	1	.	.	.	1
	備北	1	.	.	1
合計		26	2	5	6	5	3	3	3	7	60

(2) 15-59歳

		診断時住所の二次医療圏										合計
性状	登録施設の二次医療圏	広島	広島西	呉	広島中央	尾三	福山・府中	備北	県内	県外	住所不明	
良性	広島	11	.	1	.	.	.	1	.	1	1	15
	広島西	.	1	1
	呉	.	.	2	2
	尾三	1	1
	福山・府中	2	2
	備北	1	.	.	.	1
悪性	広島	324	9	5	24	8	3	12	.	19	39	443
	広島西	25	33	.	.	.	1	1	.	1	.	61
	呉	5	1	58	9	2	.	.	.	2	2	79
	広島中央	.	.	.	7	8	15
	尾三	.	.	.	2	39	9	1	.	2	5	58
	福山・府中	3	28	.	2	4	5	42
	備北	2	.	1	.	1	.	13	.	2	.	19
合計		367	44	67	42	54	43	29	2	31	60	739

(3) 60歳以上

		診断時住所の二次医療圏									合計
性状	登録施設の二次医療圏	広島	広島西	呉	広島中央	尾三	福山・府中	備北	県外	住所不明	
良性	広島	1	1
	広島西	1	1	2
	呉	.	.	1	1
	尾三	2	2
悪性	広島	36	2	2	.	.	.	2	1	8	51
	広島西	3	4	3	.	10
	呉	.	.	8	4	12
	広島中央	.	.	.	1	1
	尾三	12	1	.	.	1	14
	福山・府中	2	.	.	1	3
備北	1	4	.	.	5	
合計		42	7	11	5	14	3	6	4	10	102